

伊勢のお白石持



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

平成22年8月15日号

編集発行・御遷宮対策委員会
伊勢市岩瀬1-7-17(伊勢商工会議所内)
電話0596-25-5215



お白石奉獻に向けて伊勢人の誇りと心意気を結集しましょう

平成18年、19年、二年次に亘って御用材を奉曳したお木曳から、あつという間に三年の月日がたちました。参加された人それぞれに誇りと達成感、そして大きな感動を今も持ち続けておられることでしょう。

昨年十二月三日には、聖なる地への架け橋である宇治橋が架け替えられ、古式にのっとり厳肅に渡始式が執り行われ、御遷宮に向けての御造営も着々と準備が進められています。

さあ、次は新しい御正殿にお白石を奉獻する「お白石持行事」です。まだ三年、いやあと二年です。

私たちの先人が営々と築き上げてきた千三百年以上続く歴史のひとコマにそれぞれの熱い思いを印し、お白石を奉獻しましょう。

二十年に一度、日本の国の弥栄と繁栄に祈りを込めてお白石をお納めし、神々しく光り輝く御正殿を間近に仰ぎ見る光栄は何ものにも変え難いもの。

そしてその感動を、次代の伊勢らしい「まちづくり」につなげようではありませんか。



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

第六十二回神宮式年遷宮は 平成二十五年秋、遷御の儀を迎えます



写真提供:神宮司庁

御遷宮は神様の常若^{とこわか}つまり大御神の永遠を祈りさらなる御神徳と国の弥栄を願う神宮最大のお祭りです。

二十年に一度新しい社殿を造営し、御装束神宝を古式のままに調進して大御神様にお宮遷りをいただく式年遷宮は天武天皇の御発意により、持統天皇四年(690)に内宮で最初の遷宮が執り行われてから千三百年余り連綿と続けられてきた世界に例を見ない、日本の魂の継承ともいえる行事です。

今回の御遷宮では外宮、内宮ともに現在の御敷地の西隣にそれぞれお遷りになります。そのための二連の諸祭行事はすでに平成十七年の山口祭、木本祭から始まっており、平成十八年、十九年には伊勢市民を始め広く全国からお越しいただいた人々の手によって、御用材を奉曳するお木曳行事も無事斎行され、また昨年の十一月三日には、五十鈴川に架かる宇治橋が架け替えられるなど着々と御造営の準備が進められてきました。第六十二回神宮式年遷宮は平成二十五年秋に、大御神のご神体をお遷しする遷御の儀を迎えます。



「遷宮絵巻遷御の図」写真提供:神宮徴古館